

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計事務所	負担になっている	図面のくい違いが多すぎる。
2	設計事務所	どちらでもない	「質疑欄・応答欄」の質疑書に加え追加図面などで対応しており、おおきな負荷にはなっていない。
3	設計事務所	どちらでもない	設計事務所の積算担当なのであまり回答する項目が無い。
4	設計事務所	負担になっていない	設計事務所から積算事務所に対して不整合が多く申し訳なく思う。積算事務所に図面の不整合チェックをさせてしまっているのでは・・・？と思う。 その反面、質疑の多い積算事務所、少ない積算事務所がある。図面の精度も異なるが明らかな不整合の場合、手間をかけさせて申し訳ないが質疑で確認してほしい。おそらく積算事務所内にて仕上げ、建具、躯体など分業しているので整合の確認されることなく拾われるケースも多いと思う。
5	積算事務所	負担になっている	競争入札物件などで質疑提出までの時間が短い物件が多い、その場合は拾いを後回しにて質疑書きに時間を費やしてしまい、拾いの期間を圧縮させてしまう。 又、図面精度が悪い物件（図面が完成していない）が多く、質疑書き及び回答修正に多くの時間が奪われ、拾いが進まない状況になり、これも拾いの期間を圧縮させている原因。 設計者も少ない時間で図面を書いていると思われませんが、結果としてシワ寄せが積算業務（下請け）に集中してしまう現状を理解して頂きたい。」
6	積算事務所	負担になっている	・質疑回答日から入札まで時間が無い事がおおく、あまり時間を費やす事が出来ない。 ・プラン変更などの修正図が大量に出図される事があり 思っていたよりも労力を要する事がある
7	積算事務所	負担になっている	・質疑回答日から入札まで時間が無い。 ・変更図等変更箇所印がつかない等で積算の精度に影響することが多い。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
8	積算 事務所	負担に なっている	・積算時間全体に対する質疑応答時間（質疑作成、回答対応）の割合が 少くない。 ・積算をしているのか、図面チェックをしているのか判らない場合があ る。 ・質問文も判りづらい場合もあるが、回答内容が要領を得ていない場合 が多い。
9	積算 事務所	負担に なっている	詳細図が少ないため、質問数・回答時の修正作業が多くなる 意匠と構造の整合性が取れていないため、質問数・回答時の修正作業が 多くなる
10	積算 事務所	負担に なっている	図面の相違が多い
11	積算 事務所	負担に なっている	・各種設計図間の食い違いが多い。 ・部分詳細図（ディテール図）の不足。
12	積算 事務所	どちらでも ない	相違は質疑回答書が最優先となるため、業務依頼を請けた際は一番大切 な部分と認識しているためどちらでもないと回答しました。
13	建設 会社	負担に なっている	大量の質疑が発生する機会が多い。限られた見積期間のうち質疑提出期 日までの期間が少ない。(質疑提出後に質疑が発覚する機会が多い) ま た、質疑回答への質疑が発生する機会が多い。
14	建設 会社	負担に なっている	一般的に、提出日に対して質疑受付が、前倒しで設定されている設計事 務所が多いため。
15	建設 会社	負担に なっている	図出から見積提出まで期間があれば良いけれど、ほとんどの場合、質疑 回答後内訳を修正し業者への変更見積の徴収、単価修正の時間が短す ぎ、見積精度が下がる。
16	建設 会社	負担に なっている	質疑回答日から見積提出日までの期間が短い案件が多く、質疑回答の内 容を見積に反映させるのに大変な労力を掛けていることが多い。
17	建設 会社	負担に なっている	質疑回答から提出日までの期間が短く、質疑回答内容での数量再調から 内訳修正が急務になる場合があります。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
18	建設 会社	負担に なっている	図交から質疑提出までの時間が極端に短い案件もあり質疑しきれないこともある。質疑回答後から社内決裁や見積提出までの時間が非常に短く(2、3日)、仕様変更による再見積が間に合わない場合がある。質疑回答と共に大量に追加図が発行されることが多々あり数量修正に時間がかかり期限に追われる。
19	建設 会社	負担に なっている	図設や物件に取り掛かってから質疑提出までの期間が短い場合、図面内容を十分に確認する時間が質疑作成にとられて減ってしまいます。又、回答する側(設計事務所)の方が一度のやり取りで理解できる文章を作成するのに苦勞する時があります。
20	建設 会社	負担に なっている	概算見積時に詳細な仕上(メーカーや品番)などの質疑がある場合、その時点では、設計としては、提案段階であり基本設計前なので、そこまで煮詰まっていない場合が多い。どうしても、「標準仕様で」との回答になるケースがある。また、見積期間が短くなることで、質疑がかなり多岐・多数になっても、回答期間が短いことがおおい。他の作業を一旦停めて対応することとなってしまう。
21	建設 会社	負担に なっている	質疑応答時間というよりは、質疑回答を反映させる手間が非常にかかる。内訳訂正や再見積などに時間がかかるが質疑回答日は遅く、決済日まで時間がないのが通例だと思います。
22	建設 会社	負担に なっている	質疑関連に時間がとられる、また回答がこないと先に進まないなど時間的な負担が大きい
23	建設 会社	負担に なっている	・質疑事項が多い(図面の完成度が低い) ・質疑回答が求める回答となっておらず、新たな質疑を生じていることがある。(質疑の仕方にも問題あるかと思うが、上手く伝わっていないと思うことがある。)
24	建設 会社	負担に なっている	特記仕様書と雑詳細図が標準仕様のままの記載が多く、仕上表との相違が多くなる傾向にあり負担になっています。
25	建設 会社	負担に なっている	図面の密度、精度、によって通常は質疑しなくてすむようなことも確認せざる終えなくなっている。、構造図と建築図に齟齬がある、仕上材の品番が分らずグレードが定まらない、建具図と平面図での開き勝手が違う、建具の箇所数が違う、等。
26	建設 会社	負担に なっている	図面の情報に不足が多い場合、質疑内容の文章化に膨大な時間がかかる。

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
27	建設 会社	負担に なっている	不明な納まりに対応した施工方法・仕様を調べる手間が増える
28	建設 会社	負担に なっている	それぞれの質疑書式があり、積算協会から発信する統一書式の必要性は、痛感しています。
29	建設 会社	どちらでも ない	見積期間が短い時は、早めに回答をもらわなければ対応する時間がなくなる為、多少負担になる場合もある。逆に見積期間が充分ある場合は、特に負担に感じていない。
30	建設 会社	どちらでも ない	図面交付から質疑締切まで短い場合が多い。
31	建設 会社	どちらでも ない	回答により検討、値入に時間を要する場合はかなりの負担となるが、見積条件として捉える場面もある為、質疑の種類、内容による。
32	建設 会社	どちらでも ない	特になし
33	建設 会社	負担に なっていない	1)質疑回答のから入札までの期間が、社内に入札までの手続き等を考慮すると短い。 2)重複する質疑回答のなかでも、回答内容が異なる物件が多い。
34	建設 会社	負担に なっていない	自分個人では設備工事の質疑にあまり関係していません。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【東北支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計事務所	どちらでもない	自社による積算のためどちらでもない。
2	設計事務所	負担になっていない	図面の整合性が良いので負担になっていない。
3	設計事務所	どちらでもない	図面情報を確認するために質疑応答は必要と思われる。
4	設計事務所	負担になっていない	設計事務所に勤務しているが、積算に関する質疑がさほど多くはない為。
5	設計事務所	負担になっている	最近若い設計者が多いので、質疑しても返事がすぐ帰ってこないため、優先順序を理解して貰う。あとで 1 回にまとめて相互性を相談している。
6	積算事務所	負担になっている	対応時間が遅い。追加図が多い。
7	積算事務所	どちらでもない	回答までの時間が長い場合は負担になりますね。
8	積算事務所	負担になっている	特に最近の設計図面精度が低く、外注から納品された図面を設計者が、確認しないまま図面を提示されケースが多く、数量を算出するまえに図面の確認が多岐に渡る。設計者が図面のチェックも積算の一部と考えている感じがする。
9	積算事務所	負担になっていない	特になし
10	積算事務所	負担になっている	コメントなし
11	建設会社	どちらでもない	積算作業をするに当たり、不明点を質疑するのみで必要な項目を提出するだけ。金額に大きな影響がない場合は自分の判断で作業を進める。
12	建設会社	負担になっていない	外注の積算事務所及び設備サブコンからの質疑をまとめて、それに共通仮設等の共通項目をまとめるだけなのでそれほど負担になっていない。

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計事務所	負担になっている	回答時間が短い。
2	設計事務所	負担になっている	設計事務所の立場としても、改善を要する最重要テーマと認識しています。
3	設計事務所	負担になっている	回答待ちにより積算が中断してしまう。(必要な詳細が少ない)積算が確認する内容ではない(設計で確認すべき)内容が多い。
4	設計事務所	負担になっている	数量算出が本来の目的なのに、図面が整合してないためケアレスミスの確認も質疑としてあげなければならず時間を取られている。
5	設計事務所	負担になっている	対応猶予期間が短すぎるが多い。
6	設計事務所	負担になっている	拾いについて外注で対応して貰っていますが、図面がかたまって積算が終了してから値入れ作業に入るまでに時間がかかってしまう。
7	積算事務所	どちらでもない	質疑応答書作成の際、質疑内容の文体、読み易さを意識するため、時間がかかります。
8	積算事務所	どちらでもない	構造の質疑応答時間について、さほど負担ではありませんが、全く負担が無いとも言えません。
9	積算事務所	負担になっている	積算業務において、必要な時間ですので特に負担とは思いませんが、質疑が過剰に出る精度の図面の場合は大きな負担になります。
10	積算事務所	負担になっている	設計図が十分完成していない状況で積算業務における質疑をすることは、設計業務の一部を担うことに値すると考えている。これらの業務は図面を定量化(数量、コスト算出)するための前提条件整備でもあるが、本来設計者が行う業務である。設計図書の状況に応じた積算業務のあり方(業務範囲とその費用の定義)を検討し、業界で共通認識をもつ必要があると考えている。
11	積算事務所	どちらでもない	図面の不整合チェック。複数社の質疑が有る場合、質疑回答内の不整合が見受けられる。質疑回答添付図なのか、変更(追加)項目なのか不明な場合が見受けられる。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
12	積算 事務所	負担に なっている	図面の不整合チェック。複数社の質疑が有る場合、質疑回答内の不整合が見受けられる。質疑回答添付図なのか、変更（追加）項目なのか不明な場合が見受けられる。
13	積算 事務所	負担に なっている	図面の食い違いは、不明な部分があっても回答を待たずに想定して拾うことになる。回答によっては拾い直しになるため手間が増える。
14	積算 事務所	負担に なっている	特記と図面の相違が多い。特記は他物件を流用して、そのままの所が多い。
15	積算 事務所	負担に なっている	図面の食い違いが多く、質疑書を作成する時間を多くとられる
16	積算 事務所	負担に なっている	大規模物件では、質疑提出の回数が3回程度に決められ、提出の日程も積算に合わせた日程になっていないのが現状です。全体を把握していない段階で最終質疑の提出となる場合があります。フォーマット通りに全ての食い違い情報が出揃うとは思いません。
17	積算 事務所	負担に なっている	図面の不備により質疑が膨大になることが多すぎる。 精概算レベルの図面で積算することが多く、仮定しなければならない質疑が多い。
18	建設 会社	負担に なっている	設計図の齟齬をチェックし、質疑書を作成することに大きな時間と労力を費やしている。
19	建設 会社	負担に なっている	出来立ての図面が出図されるケースが最近は多く、初期の見積りが不整合のチェック用となり、拾う側に肉体的・精神的負担となっています。 (自社設計、他社設計に限らず)
20	建設 会社	15と同じ 回答者	主な内容は、不整合、詳細図不足、仕上げの未記入、読み込みが難しい表示や表現（質疑もしづらい）、範囲の指定不足、設備との不整合。
21	建設 会社	15と同じ 回答者	最悪なのは質疑回答時に図面を雲マーク入りで多くを差し替えられる事です
22	建設 会社	15と同じ 回答者	上記の雲マーク以外の部分も変わっていると、もはや設計図書とは呼べない状態の場合も散見されます
23	建設 会社	15と同じ 回答者	いい加減な回答は見積精度や施工の失敗、もめ事にもつながります。 (他の回答と不整合や適宜想定という回答など)

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
24	建設 会社	負担に なっている	図面の詳細が無く数量が拾えない、メカ品番が無く金額の想定が出来ない等が多くそのための質疑が多くなる。
25	建設 会社	負担に なっている	図面の不整合が多く、質疑数が大変多い。
26	建設 会社	負担に なっている	図面及び記載事項の不足、不整合のすり合わせ。
27	建設 会社	負担に なっている	図面の食い違いが多く、質疑回答後の手直し指示等も含め仕事量が増えている。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計 事務所	負担に なっている	質疑応答が、取り急ぎ設計の図面チェックと、時間稼ぎに利用されている事がある。
2	設計 事務所	負担に なっている	設計図面に不備があるからなのかもしれないが、同じ質疑が前後してあったりするので質疑自体も全体で統一されていると分かりやすいと思う。
3	設計 事務所	負担に なっている	図面の不整合（設計側の問題）が大きいと思うが、たまにそれぐらい・・・と思う内容もある。積算に必要な内容が事前にわかると助かる。
4	積算 事務所	負担に なっている	図面の不足、相違が多いとどうしても質疑が多くなってしまう。特に不足図を質疑すると、ものによっては回答を待ってじゃないと拾えなかったり積算自体の遅れにつながります。
5	積算 事務所	負担に なっている	図面内の相違（特記仕様書、仕上表、各詳細図）が最近多く見られ、且つ図面内での一貫性が無い為、方向性を決めるのにも考慮するにも時間が掛かりその質疑を取り纏めるのでさらに時間が掛かり負担が増えております。
6	積算 事務所	負担に なっている	納まりが複雑な範囲は、「後日回答」と頂き。回答に1週間程度かかる時もあり積算進行に支障をきたします。
7	積算 事務所	負担に なっている	回答が遅い。
8	積算 事務所	負担に なっている	図面が揃っていればしなくてよい質疑が大量に出る。
9	積算 事務所	負担に なっている	積算では必要だが図面に記入されない内容を毎回聞かなくてはいけない（現況G L、発生土の処分先、山止め、工程表、設備補強（スリーブ・天井開口）等
10	積算 事務所	負担に なっている	全ての図面を確認し設計者に意図が伝わるように箇条書き、図の貼り付けなどをする為時間がかかる場合があります。また質疑の未回答などを整理、再質疑するなどの作業にも時間を取られたりする事があります。（設計者がどこまで回答をしたか把握して無い場合がある為）
11	積算 事務所	負担に なっている	図面の不整合及び不足図が多いため

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
12	積算 事務所	負担に なっている	特記仕様の書込み不足・図面との食い違い、詳細図の不足・不備、図面の喰い違い、仕様の書き込み不足
13	積算 事務所	負担に なっている	単純なくい違いの多さ、基準的な詳細図を並べられるので該当しない物が多い、逆に詳細は質疑有きで作成される場合も見受けられます。質疑内容によっては、詳細が無いと手がつけられない部分が残し、拾い落しの原因になります。
14	積算 事務所	負担に なっている	拾いの基本的な情報（間仕切・ボード高さ等）が不明確な場合は回答が返ってくるまで作業が進みません。進めても戻って修正することになってしまいます。質疑の内容のほとんどが拾いに関する事の為、予想と反する回答の場合は戻って拾いを直さなければいけません。
15	建設 会社	負担に なっている	図面の整合性や仕様の確認等の質疑が多く、提出直前に回答を頂いた場合、想定していたものと違った時に再度見積徴収や単価の確認作業が必要となるため
16	建設 会社	負担に なっている	図面の食い違いが多い事。参考内訳数量に1式項目が多すぎる事。質疑回答が的確な回答で無い為、質疑回答の対する再質疑が発生する事。
17	建設 会社	どちらでも ない	建設会社側の意見は、質疑書を提出して明確に回答を頂き内容に食い違いがない様にする為には、文章だけではなく、スケッチ程度の資料があると理解しやすい。
18	建設 会社	負担に なっている	図面の相違についての質疑はもちろんですが、近年は本積算の質疑回答によって設計図書を仕上ていると思われれます。本来は設計側で仕上がった図書を本積算するのが本来の流れですが・・・
19	建設 会社	負担に なっている	積算事務所より受領している質疑提出内容の確認に、かなりの時間を費やしています。
20	建設 会社	負担に なっている	図面不整合。
21	建設 会社	負担に なっている	詳細不明。
22	建設 会社	負担に なっている	仕様不明。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【中国四国支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計 事務所	どちらでもない	数量や値入れに関係するグレードの記入が必要であることはわかりますが、設計上省きたいものもあるので、積算のための設計図を求められると設計の手間が増えてしまいます。 質疑で求められる詳細資料に対するものは質疑洋式ではかわらないと思います。
2	積算 事務所	負担に なっている	設計図面の相違い
3	積算 事務所	負担に なっている	1)最も多いのは、図面の不整合に関する確認 2)仕様の未記載に関する確認 3)共通仕様書に合致しない事項に関する確認（特に塗装関係）
4	積算 事務所	負担に なっている	設計事務所のレベルにもよりますが、図面のチェックマンの要素が負担
5	建設 会社	負担に なっている	◆計画、基本、実施図の各段階及び規模により、また作図の能力・レベルによっては、質問が3桁数にもなる事もある中で、質問を起こし提出、回答受け、積算への反映までを1週間から10日位の日がちで終えなければならぬ使命がある。 ◆得てして、図面のチェックマンにも成り得る場合もある。

設問①-3： 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【関西支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計事務所	負担になっている	プロジェクトの大型化・複雑化・不確実化、設計図書作成期間の短縮などに加え、設計者のスキルや積算に対する理解の不足による設計図書完成度の低下、積算事務所のスキルの低下、見積参加者のリスク回避傾向の増大などから、質疑応答の負担感が高止まっていると感じる。
2	設計事務所	どちらでもない	設計事務所所属で有り、自社の図面の出来の良し悪しが質疑応答にかかる時間となります。コスト管理の立場として時間が無い場合又は、質疑があまりのも多い場合は各設計部門の担当を呼び出し積算事務所の方に来所していただき、面と向かって話をさせて終わらせるようにしています。
3	設計事務所	負担になっている	数量積算時は設計担当と積算事務所とのやり取りの中継が主なので実質は労働量的には大きな負担にはなっていないものの時間の消費による提出期限との兼ね合いで負担になる。
4	設計事務所	負担になっている	不整合の調整に時間を割かれることが多い。不足図面が後から提出されることで、元図面の変更があり、手戻りが発生する。また、質疑の回答になっていないため、質疑に対する質疑があり質疑回答が膨大になっている。
5	設計事務所	負担になっている	くいちがい等があると、いちいち手が止まり、質疑を考え、書かなければならず、積算の工程がおくれていく。
6	設計事務所	負担になっている	設計者と積算者の質疑で両者とも意図が伝わっていないやり取りがあるのを調整するのに時間がかかる。
7	積算事務所	負担になっている	質疑回答の枚数が多すぎる。建設業者入札用の業務の場合、応札業者全ての質疑回答の確認が必要となる。
8	積算事務所	負担になっている	数社同じ質疑をした場合、相違した回答等によりミスに繋がる事がある。
9	積算事務所	負担になっている	限られた時間の中で、回答を想定して進める場合が多いが、場合によっては大がかりな拾い直しになる事がある。
10	積算事務所	負担になっている	各回答により相違がある。
11	積算事務所	負担になっている	未回答・内容の不備が多く、再質疑及び修正に時間がかかる。

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【関西支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
12	積算 事務所	負担に なっている	図面の相違が多く、質疑数が膨大となる事が多い。また、意図とは異なる回答により、再度質疑する事も多々ある。
13	積算 事務所	負担に なっている	回答の抜けや内容の不備が多く、再質疑や修正を何回かに分けて修正している。
14	積算 事務所	負担に なっている	共通データ（特記等）及び過去データの転用による整合性の低下等
15	積算 事務所	負担に なっている	図面の不備、食い違いが多い。質疑の項目が200～500くらいになることも多く、1日毎で考えると短い、トータル時間で考えると結構な時間になっていると思う。
16	建設 会社	負担に なっている	質疑回答から提出までの時間が適正な時間から、不足する場合がある。
17	建設 会社	負担に なっている	設計スケジュールが押して、整合性のチェックができていないうちに見積図として出図されることが質疑の増える原因であり、出図前に設計サイドで整合性の確認を済ませてから出図すれば解決することであるが、現実には難しいと思う。
18	建設 会社	負担に なっている	最近の設計図書は、基本的に積算側がほしい情報があまり反映されていない場合が多く、積算を進めるために通常「こんなものかな？」といった内容で質疑を作製しますが、返ってきた回答によって変わっている場合は、時間の無い中、再積算を行います。質疑回答時にドサッと追加図が出たりする場合は最悪で、積算を元からやり直しのケースも発生します。いずれにしても、質疑が多すぎるけれども出さないと前に進まないし、受注できた暁には「質疑を出していないから」という理由で、変更が認められないことが多い。渋々質疑を作っている状況です。設計者の技量が落ちてきている昨今、何が記載漏れしているかわからないままレビューもされず、現説が行なわれているのかな？と思います。過去に500も1,000も質疑を出したこともありますが、質疑問題は永遠のテーマではないでしょうか。これをなくすためには、設計にかける時間をたっぷり取ってもらって、完成図で現説をするしかなさそうです。
19	建設 会社	負担に なっている	設計期間が短いのか、発注者側の決定が遅いのか、設計図書（意匠、構造、設備、もしくは意匠同士）の整合が取れていない、もしくは出揃わない（質疑回答時に追加資料としてでてくる）ケースが増えている。

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【九州支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
1	設計事務所	負担になっている	同じ事務所なので、中途半端な図面の時は、特に負担になっている。
2	設計事務所	どちらでもない	意匠設計を主体に仕事をしていますが、積算・値入れも自分で行います。入札時等に積算に絡む質疑が来ますが、相違等のミスだったり記入不足で意図が伝わっていないものだったりするので、図面を描いていく上で非常に参考になります。
3	設計事務所	どちらでもない	忙しい時ばかりではない。
4	積算事務所	負担になっている	年々質疑の量が増えている気がする。
5	積算事務所	負担になっている	近年、図面の不整合や詳細不明な内容が増えており、質疑応答の質問数、対応時間が増加しております。また、質疑回答時に追加図面や変更図面が添付される事も多くなり、見積期間の切迫に繋がっております。
6	積算事務所	負担になっている	①質疑書の作成に時間がかかる。 ②質疑書を提出しても、回答まで時間がかかる。
7	積算事務所	負担になっている	設計図面に相違が多いため質疑しなくてはならない。
8	積算事務所	負担になっている	構造の積算は質疑応答の内容によって大きく積算の方法が変わる場合が多い為、早い応答が望ましい。
9	積算事務所	負担になっている	設計見積り用の積算業務が殆どのため図面の不足、未完成が多く質疑応答に時間が掛かる。
10	積算事務所	負担になっている	質疑内容によっては想定で拾っておいて、回答が来てから修正とある事があり時間がかかる。
11	積算事務所	負担になっている	質疑書作成に半日～1日かかる場合がある。 質疑回答に対する質疑がある。

設問①-3 : 設問①-2(疑応答時間の現状)でご回答いただいた主な内容についてお聞かせください。

【九州支部】

No	職域	設問①-2 の回答	回 答
12	積算 事務所	負担に なっている	図面の精度が悪くて質疑の量が多過ぎる。 設計事務所によってバラツキが多い。
13	建設 会社	負担に なっている	図面受け取りから質疑受け付けまでの期間が短い。
14	建設 会社	負担に なっている	図渡しから質疑提出までの期間が短いと、仕上の食違い等の質疑が出せません。実際に拾い出しをする中で、細かい部分に質疑が出てきたりするものだと思います。 質疑までの期間が短い物件に対しては、締切り後の質疑対応をお願いしています。(民間案件)

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	「相違確認一覧表」は設計者としては、見やすく理解が早いと思うが、積算事務所の作成に時間がかかるので使用されたケースは過去に一度もない。
2	設計事務所	設計者、積算者の質疑回答の時間短縮になると思う。
3	設計事務所	積算事務所からは資料-1の様なフォーマットで現状質疑のやり取りをすでに行っている。
4	設計事務所	特になし
5	積算事務所	<p>フォーマットが2つある分、入力、合算、管理などの作業が煩雑になりそうです。一人で拾って完結する物件には使用出来そうですが、現実的にはそのような物件は少ないです。</p> <p>弊社では相違の場合は下記のように『書き方』を統一しております。</p> <p>質問する側も回答する側も見易いようにパターン化しておりますので、別フォーマットにした場合のメリットが少なく、又デメリットもありそうですので運用には踏み切らないと考えます。</p> <p>相違の場合の質問例)</p> <p>～～について、下記の様に相違しております、〇〇図を正とし、〇〇と考えて宜しいでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇図 〇〇 ・△△図 △△ ・□□図 □□
6	積算事務所	自社の質疑書がある為 特に使用しなくてもよいと思われる。
7	積算事務所	建具、家具類については、使いやすく感じました。内装につきましては、天井高さ・仕上範囲・仕上の相違など、一室で細々と質疑を要する部分もあるのでまとめて質疑するケースが多いと思われます。そのため、あまり使用しないと思われます。
8	積算事務所	自社の質疑書がある。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
9	積算 事務所	・指定書式であれば使用します ・相違の質疑の形式(文章)は決まった形になるので、目に見える時間短縮は難しいと思います
10	積算 事務所	質疑書の枚数は少なくなると思う
11	積算 事務所	修正作業の負担が減らない
12	積算 事務所	当社も同様の質疑を提出しておりますが、この様な表w p作成するとより分かりやすいと思います。
13	建設 会社	文字にして表すより分かりやすい。特に図面によって寸法が異なりどれが正なのかを質疑したい場合は便利だと思う。 (但し、物件によっては指定書式の場合がある為、使用する際は自由書式の場合に限る。)
14	建設 会社	相違確認一覧表はわかりやすいと思う。異なる部分を色分けにするなどのアレンジもあり得ると思う。ただ、一覧型質疑表については、現在使用しているフォーマットとほぼ同じである。それで、時間短縮できるかと思うと困難を感じる。例えば、チェックリスト方式にするなど。ただ、それだと積算担当者側の負担が増えるだけか。
15	建設 会社	相違確認一覧表は画期的だとは思いますが、以下の理由で積極的には採用できない。 ①設計事務所、発注元によって質疑書式の指定がある場合が多い。 ②質疑書式と相違確認一覧表を区分することによって作業が増える。 ③質疑書式と相違確認一覧表を区分する事を提出先(設計・管理者)への補足説明が必要になる。 ④本見積(精見積)、概算見積の精度により書式の使分けも必要になるかと思われる。 質疑書式の官民統一書式として普及が必要かと思われます。
16	建設 会社	一覧表形式の質疑書は、記載内容が細かすぎる。もう少し簡便な記載方法はないでしょうか？質疑書の統一書式を積算協会が中心となって策定していくことは、省力化につながると思います。
17	建設 会社	質疑内容の長さにより1ページに収まる行数が変わる為外枠は太い線では無い方が良い

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
18	建設会社	一目で各図面の情報がわかるので双方で内容を共有しやすいと思う。
19	建設会社	図面の不整合などの一部の質疑においては、質疑する方、回答する方両者にとって、分かりやすく、良い取り組みであると思う。
20	建設会社	「以下の〇〇関連について、A：想定欄の仕様を正と考えてよろしいでしょうか。」の文言をもう少し目立たせた方が良いと思います。また、質疑書の指定書式がA4縦が多いので、このフォーマットもA4縦バージョンがあれば良いと思います。
21	建設会社	相違確認一覧表を作成することにより、設計事務所が質疑応答へかける時間は短縮されると思いますが、質疑する側が資料を作成する時間がかかりますので、相違の数が多い場合は、全体の質疑応答の時間が短縮できるとは思いません。
22	建設会社	今後、建設会社・積算事務所等全ての企業が、使用する事になればフォーマットとしては問題ないと思う。
23	建設会社	図面内での「相違」に関して、質疑する方も回答する方もわかりやすいと思われます。今まで通り文章での説明をすると解釈の違いも生まれやすいと思います。
24	建設会社	この一覧表は逆に、設計者にチェックリストとして使ってもらいたいです。そうすれば質疑事項も減り時間短縮になります。
25	建設会社	設計事務所の指定書式等もあり ページ数や通し番号の関係上難しいように思う
26	建設会社	積算は短期間しか作業時間がありません。出来るだけ早く質疑回答をもらい数量を出さなければ終わりません。仕上関連の相違を一覧にまとめるほどあること自体が困ります。このフォーマットのような形で設計段階のチェックリストとして使ってもらいたいです。
27	建設会社	ほとんどの場合、設計事務所の指定の質疑用紙があるので使用出来ない。
28	建設会社	質疑する側もされる側も時間短縮になり、またミスも減り効率アップになると思う。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
29	建設 会社	実際に使用してみないとわからないが、相違に対する質疑もかなりのウェイトを占めていたので、簡素化できるのは良いと思う。
30	建設 会社	今回の相違点だけでなく、メーカー・品番や不明な点（資料-1 2項目目のフックの箇所数など）等の質疑も各々一覧表にできると思いました。
31	建設 会社	見積図面の出来によりどうしても質疑の内容が変わる為、アレンジは必要と思う
32	建設 会社	特になし(3件)

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【東北支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	相違確認一覧表は質疑される側としてはかなり分かりやすく良いと思います。
2	設計事務所	時間が短縮できるかは疑問な点もあります。
3	設計事務所	回答文章が長いので時間が要すると思う。質疑の簡素化は設計図の整合性を高めれば解決できる。
4	設計事務所	「相違確認一覧表」のA：想定欄はなしでもよいのでは？
5	設計事務所	自社における積算のため質疑のフォーマットは不要と考えます。
6	積算事務所	良いと思います。
7	積算事務所	先ずそのまま使って見てから・・・
8	積算事務所	質疑事項は、建物の用途や設計図によって、多岐に渡りこのフォーマットを記載するより、各自質疑書を作成した方が早いと思われる。（質疑の数によるが）
9	積算事務所	特になし
10	建設会社	今のままで不便を感じることはない。質疑の内容がわかりづらい。
11	建設会社	図面の相違についてはこれで対応出来ると思いますが、その内容については対応出来ないと思います。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	回 答
1	設計 事務所	返って時間がかかる。
2	設計 事務所	設計、積算、双方にとって記入と確認がしやすいと思います。
3	設計 事務所	使用するかしないは未定だが、積算の担当者のまとめ次第。(拾い担当が多い中で、同時に拾っている最中に一つのデータにうまくまとめられるか?)
4	設計 事務所	主旨は良いと思うが記入に手間がかかりすぎる気がする。 現在の質疑書でも似た対応はしている。
5	設計 事務所	複数社から同じ内容の質疑が多く、シンプルなエクセル表に集約させる発想は良いと思う。他社同内容質疑について確認管理出来るよう、現説時に共通フォーマットデータを配布するとともに、質問者管理番号(質疑者任意符号-質疑番号)や、質疑項目番号などにより、全質疑の編集、フィルタリング作業を行いやすく工夫したい。
6	設計 事務所	一覧型質疑表で質問するところとそれ以外で質疑するところを分けて質問するのは手間ではないのだろうかと思った。
7	積算 事務所	実際に使用しなければわからないが、時間の短縮に役立つと思う。又、見やすい質疑表だと思います。
8	積算 事務所	良いとは思いますが、客先に確認が必要となりますので利用しないと思います。
9	積算 事務所	物件ごとに客先指定のフォーマットがある為、使用できる頻度は低いと思います。
10	積算 事務所	文章で書くよりは、速いと思います。上記(※事務局注：6.設計図が十分完成していない状況で～)で述べたとおり、そもそも図面に食い違いがあることの責任をどちらで持つのかという問いについて、積算業務と言われる業務がどのような業務範囲で仕事をするのか議論の余地があると考えます。
11	積算 事務所	指定書式が有る場合、違う書式が入らないほうが良い。前後の質疑と関連性がある場合は個別に質疑したほうが、積算者-設計者(発注者)との意思疎通できる。積算者、設計者(発注者)が複数人(社)いる場合、全ての関係者に周知が困難だと思われる。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	回 答
12	積算事務所	これまでもこの様な表現方法にて質問することがあったが、業界の標準として位置づけされれば、質問側・回答側共に見慣れたフォームになり、時間短縮につながると感じる。
13	積算事務所	相違点を表にすることで質疑・回答側の双方がわかりやすくなると思う。相違確認一覧表の図面名を記載する列が5列のみなので、組合せとして足りなくなった場合は表を数パターン作成することになる。
14	積算事務所	質問し忘れのチェックになるかもしれない。
15	積算事務所	質疑応答書より記入の手間が省けて、非常に良い。すぐに採用したい。
16	積算事務所	このフォーマットで質疑がきた時に、何十行もあるとうんざりしてくる。文章で書いた方が、自分の考えに誘導しやすい。
17	積算事務所	A：想定に対してB～Fの決められた部位がありますが、B～Fの5項目では納まるものではないと思います。他に特記仕様書との食い違い、矩形図同士の食い違い等があります。図番と部位は、各セクションを二段書にて、上段に記載、下段に食い違いの内容を記載すればいいかと思います。又想定理由が必要な場合もあるので備考(想定横に)がほしい。
18	積算事務所	質疑の量という部分では短縮は難しいと思いますが、見やすさ・使いやすさの点では短縮につながると思います。 メーカー、品番の質疑も一覧にまとめてしまった方が良くと思います。
19	積算事務所	積算事務所の都合で書式を作成しすぎている。設計者が確認すべき資料が多数に及ぶことが予想される。質疑者が求める内容は、質疑作成時間の短縮では無く、積算業務の短縮であると認識している。その為には設計者が短時間で回答できるよう、質疑の出し方を工夫した方が良く考えている。 可能な限りYES・NOで回答できるような質疑の出し方など。
20	建設会社	使用してみないと分からないが、横並びになっているのは分かり易いと思う。
21	建設会社	誰が見ても見やすい、理解しやすいと思います。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	回 答
22	建設 会社	当社の協力積算事務所と確認し活用していく方向で打合をしたいと思う。
23	建設 会社	このフォーマットに記入するのにも時間がかかるので、時間短縮になるか不明です。
24	建設 会社	施主・設計側での受け入れができるようであれば、使用してもかまわない。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	相違の内容を文章（それも敬語）で知らせるよりも、効率良さそうであり、また意図の伝達が確実である為、よくできていると思う。 しかし、この表を作成するのも手間がかかり、積算側の時間短縮になるかは疑問である。
2	設計事務所	端的に、どの図面のどの部分が喰い違っているのかが表になって一目瞭然で回答もし易く分かりやすく良いと感じた。
3	設計事務所	フォーマット書式を作るのであれば共通書式としてもらいたい。各社アレンジになると、結局現状とあまり違いがない。
4	積算事務所	複数人で、各個人でExcelデータを作成するが、統合が2つ分になってしまい、手間になると思う。
5	積算事務所	一般質疑と相違質疑を別データとして作成するなら、良いと思う。(回答もしやすいのでは)
6	積算事務所	資料-1のフォーマットに関しては各社独自のものを使用しても問題無いかと思われます。
7	積算事務所	予め一覧表があれば、質疑作成時間が、短縮されるので有れば便利だと思いました。
8	積算事務所	メーカー名、品番を尋ねる質疑も一覧型としてもよいのではないのでしょうか。
9	積算事務所	相違確認一覧表は設計者に意図が伝わらない可能性があります。（説明が必要）このようにフォーマット化すると汎用性が無くなるのでかえって使い勝手が悪くなると思います。
10	積算事務所	相違を別紙一覧に集約する事は、積算、設計の双方にとって、作業性が良くなると思いますので参考にしたいと思います。
11	積算事務所	質疑は拾い進行に伴い書き上げるので一覧型としてまとめることが可能なのでしょうか。
12	積算事務所	ひとつの書式で管理がしたいです。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	回 答
13	積算事務所	全ての図面が出揃っているのくい違い一覧は理想だが、現状全ての図面が最初から出揃う案件は少ない。また、1か所でも相違があれば、その1か所で食い違いの質疑を出し、他の図面への波及は設計者にお任せして良いのではないのでしょうか。
14	積算事務所	拾い前に一通り図面に目を通した時点ですべての不整合が確認できれば問題ないと思われませんが、拾いながら不整合を見つけることがほとんどの為、拾い終わってからの提出になってしまいます。また、まとめて提出することにより回答が遅れる可能性があると思います。
15	建設会社	フォーマットを使用して減るのはタイピングの回数と質疑の用紙だけで、作業効率は変わらないと思います。想定通りならさほど時間はかからないが、回答が違った場合は手間がかかるのは同じ。
16	建設会社	資料1別紙 相違確認一覧表について 良い点：質疑のポイントが文面で長々と記載するだけではないので伝わりやすいと思う。 問題点：弊社は構造、意匠と分類しているため、その場合の対応について詳細を詰める必要が有ると思う。
17	建設会社	文章化するよりは、表で表現した内容は見やすく理解しやすいですが、質問側と回答側の意見を統一化する為に、スケッチ程度（手書き）を描くスペースがあると活用しやすい。
18	建設会社	通常、質疑のフォーマットは指定されている為、一覧型のフォーマットは使えない。ただ、見易い、理解し易いものなので今後広まれば良いと思う。
19	建設会社	後に施工側への伝達にも使えると思われれます。 また、質疑を回答する側の相違も減るのではないかと思います。
20	建設会社	他社設計では利用できない。書式が2種類になるのは不都合が多いと思われる。
21	建設会社	相違点が見える化して質疑するのは、設計者へ失礼にならないでしょうか。
22	建設会社	他社質疑回答との相違点をまとめ、採用回答を決定する社内用には使用できる。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【中国四国支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	相違いの箇所がわかりやすいので適確な回答ができると思う。
2	積算事務所	回答欄は想定でなく図面を決める(仕上表等にする)と回答欄に書き入れる。
3	積算事務所	良くできていると思いますが、大変時間がかかるのではないかと思います。
4	積算事務所	積算事務所内部での質疑書の取りまとめとしては、見落としとか社員教育等に有効活用できると思うが、設計事務所に対しては質疑書の提出書類は別にまとめる必要があると思う。
5	積算事務所	設計者への食違いチェックには、非常に有効と思われる。 設計事務所の協力者として、積算業務を行う場合は使用するかも。 但し、質疑応答の短縮となるかは疑問です。
6	建設会社	<ul style="list-style-type: none"> ◆枠埋めとして行くのと、文章として入力するのと何方が早いかな。枠はけっして早くないしチェック確認が難しい。 ◆作成時一覧にするか、通常使用にするかの迷いも無駄な時間であったり、質疑の繋がりが(拾っている部位・場所等の順)が途切れる。 ◆求めたい回答の有無、回答の長文短文など、「問い形式」と「回答形式」が異なる時など意見の疎通出来ない可能性もあり難しいのではないかな。 ◆一覧表はパット見で理解し難く間違いを起し易い感じがする。 ◆質問の受け側によっては失礼にも感じられる。 ◆よくよく見れば使い辛い、シンプルな文章が良い。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【関西支部】

No	職域	回答
1	設計事務所	従前から質疑フォーマットを統一した事例はあるが、必ずしもフォーマットが守られるとは限らないため、一定の効果はあるが限定されると予想する。
2	設計事務所	結局は、書き込みする時間が必要な為、時間短縮にはなるかと思いますが根本的な解消にはならないと思います。
3	設計事務所	端的に聞きたいことだけを書けばよいと思う。図面間の数量的な食い違いとそれ以外で書式が変わると煩雑だし、図面修正時の見落としも発生する。
4	設計事務所	不整合の各図面で比較して見るのが可能なので、言葉のみの回答で表現するより、分かりやすいし、図面を訂正する側にとっても分かりやすいと思う。
5	設計事務所	一覧表型だと、自由度がないと思う。従来型でも羅列すれば同じ。
6	設計事務所	たぶん読み返すときに見づらい。
7	積算事務所	質疑の内容が、あまりにも多すぎる為、パターン化が難しいと考えます。また、設計事務所・設計業者共書式が決まっており難しいと考えます。
8	積算事務所	相違以外の質疑は使いにくい、(相違のみを纏める手間がかかる)昨今は、相違より収まりの不明などの質疑が多い。
9	積算事務所	軽微な質疑もある為、使いにくい場合が出てくる。
10	積算事務所	数種相違している場合、正となる項目の納まり他関連を再度質疑する場合も有り2度手間になる可能性もある。
11	積算事務所	このフォーマットを使うと設計者は回答しやすくなる様に思われます。
12	積算事務所	質疑する側も文章入力低減され効率が上がる様に思われます。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【関西支部】

No	職域	回 答
13	積算 事務所	相違点を別データにすると、その相違に関わる関連物の質疑が出しにくい。 例…上記質疑が〇〇の場合、建具寸法が納まらない為、H2, 000に読み替えて 宜しいでしょうか。
14	積算 事務所	質疑内容の重複等起こりうる可能性がある
15	積算 事務所	従来のフォーマットに慣れてるため、使いません。
16	建設 会社	完成度の高くない図面にて見積を行うことがあります。基本は完成度の高い図面で見積もりを行うことを積算の立場としては、要求すべきだと思います。[設計時間が十分に取れない] ⇒ [積算に負担がかかる] となっていると考えています。適正な積算期間を設けていただくことが、必要なことだと考えています。
17	建設 会社	文章としての質疑応答書が別紙だらけになり、まとまりがなくなる。単一のファイルの扱いが困難になる。また、入札物件で数社分を設計事務所ですべてまとめて回答する際にも扱いが煩雑になると思われる。
18	建設 会社	ややこしい=質疑-回答と急いでいるときに、質疑者も回答者もじっくり見ている時間が取れないのではないのでしょうか。急いでいる時は、従来どおりの図面番号⇒相違点⇒どうするかを簡潔に記載し、機械的に1つ1つつぶしていくほうが早い。こういうフォーマットよりも、質疑書の中の「無駄な敬語」をやめて、簡潔にしたほうが良いと思います。
19	建設 会社	良いと思います。積算ソフトの入力段階で齟齬が発生した場合に、自動チェックおよび出力できるようになれば更に良いと思います。
20	未回答	全社統一書式の変更が必要であり、全店への展開が必要である。

設問②-3： このフォーマット(一覧型質疑表)へのご意見をお聞かせください。

【九州支部】

No	職域	回 答
1	設計 事務所	自分で設計・積算するため、使用することはないと思います。
2	設計 事務所	便利になるのでは？
3	積算 事務所	資料-1②は良いと思う。但し、EXCEL書式と思われるが、使いやすい設定がなされているか不明なため、現時点では使わないとします。
4	積算 事務所	フォーマット[資料-1]は相違点が見やすく纏められておりますが、上記でも記載した通り、図面不整合による質問数の増加が問題である為、質疑応答の対応時間短縮に関しては有効と思いません。
5	積算 事務所	①フォーマットは全員に回して、担当者全員の質疑をそろえて提出となれば時間がかかると思われるが。 ②相違確認一覧表は見づらい。
6	積算 事務所	質疑を書く側としてはとくに無し。
7	積算 事務所	施工会社等の積算時のような、完成された図面による積算時には使いやすいと思う。
8	積算 事務所	物件ごとに質疑内容が異なるので使いにくい。
9	積算 事務所	特に無し。
10	積算 事務所	資料-1②に関しては、理解するのに時間がかかる。
11	積算 事務所	使ってみて検討する。
12	建設 会社	図面の詳細を把握することに時間を要するのであって、質疑応答書自体を作成することは、それほど時間を要しません。
13	建設 会社	現在使用している質疑書で十分である。

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	リストだけでなく、参考図があるとよりわかりやすいと思います。
2	設計事務所	内容に関してはわかりやすいと思います。が、設計者の理解につながるかは不明。 資料-2の「内装拾いの手順」「RC躯体拾いの手順」を並列表示しないほうが良いと思います。 図面情報の必要性については「拾える」か「拾えないか」のどちらかであり、A、B、Cを含め拾えて、値入できる図面の認識が重要と考えました。
3	設計事務所	設計者に積算に必要な情報が何かを教えることは重要。
4	設計事務所	非常に解りやすいと思います、意匠設計者に配布して積算渡し図面の参考にしたいと思います。
5	積算事務所	3. 図面情報に関するFAQにつきまして、発注者（官庁、民間）に応じてケースバイケースの回答が必要と思われます。（メーカー品番などは官庁は明記できない点など） そういった部分も追記が必要ではないでしょうか。
6	積算事務所	図面情報について、精算の場合はランクA～C全て必須と思います。
7	積算事務所	【内装拾いの手順】 - 【4. 数量拾い出し（各室仕上）】の『カウンターなどの雑もの・・・』については、会社ごとに異なる。弊社の場合は、各室仕上を拾う人と雑物を拾う人は別です
8	積算事務所	とても分かりやすくまとめられており参考になりました。ベテランはともかく、初心者の設計者、積算担当者には役に立つと思います。
9	積算事務所	特にありません
10	建設会社	資料-2のような方針があれば、設計側としてもどの図面を優先して作成すべきか、どの項目を記載する表現としなければならぬかが分かってくるので、勉強になった。 経験的にわかっていることでも、このような文書化してもらえると改めて認識できるし、他の担当者へも伝えやすい。これが図面例などに書き込まれているような資料だとビジュアル的にさらにわかりやすくなるかもしれない。

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【北海道支部】

No	職域	回 答
11	建設会社	数量積算作業、図面情報の種別は、今後 新人育成の場で活用できるかと思えます。設計者からの質問Q&A は、社内設計部の新人育成の場では発揚お出来るかと思われませんが、一企業として対設計事務所へ活用する場面は、ほばないかと思われま。積算協会から設計者への発信であれば活用出来るかと思われま。
12	建設会社	積算士ガイドブックに記載のチェックリストを書式化し、運用出来れば良いと思いま。
13	建設会社	・良い取り組みであると思いま。 ・上記4について、出図時では遅いと思いま。個別案件毎ではなく、日頃から設計者に対しての教宣し、理解を深めていただければと思いま。
14	建設会社	概算見積の要求も多いのでその場合の最低限の必要項目についても触れて頂きたい。
15	建設会社	わかりやすく良いと思いま。設計者に理解を深めて頂ければとの思いには大賛成です。
16	建設会社	設計者に流れを説明する機会があれば使用したい
17	建設会社	こういったアクションを起こすこと自体に先ず、意義があると思う。
18	建設会社	特になし(6件)

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【東北支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	業務が増えるだけではないか？国交省などの積算のチェックリストで十分と思うし、質疑の回答を知ることができればそれでよいのではないか？設計図に不備があることを改善してゆきたいと考える。
2	設計事務所	自社での積算の時、担当者が気を付けるべき留意点を再確認できる資料だと思えます。今後 参考にしていきたいと思えます。
3	設計事務所	特になし
4	積算事務所	使うことに設計側が理解してくれば良いですが。
5	積算事務所	特になし（2件）
6	建設会社	この様なもので設計図面のグレードが上がるのであれば苦労しない。すべての案件で個別に対応していくしかない。
7	建設会社	個々の対応は難しいと思えます。積算協会として設計事務所協会等にアピールする方向で検討すべきでは？

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	回答
1	設計事務所	質問3については矩計図こそ、仕上表記が必要と考えています。
2	設計事務所	この内容を積算が始まる前に、設計が確認すれば設計者・積算者のお互いの負担が減っていくはずです。
3	設計事務所	すべて図面が揃っているのが理想だが、そうでない場合が多いのでランク+時間的優先が必要（Aランクが多いのでその中でも優先順位が必要）
4	積算事務所	着手時の図面内容チェック時に参考になると思いますが、改修工事や解体工事の場合、要求する以前に資料不足である場合や、現地調査が難しい場合も多く、発注者及び設計者と協議し、着手後の精算を提案するなど、積算(見積)条件について要望するほうが現実的だと思います。
5	積算事務所	防水範囲図、断熱範囲図、ガラス厚種別図などがあると分かりやすいです。
6	積算事務所	図面情報に関するFAQで、「出来ます・出来ませんが・・・」と回答されている質問—3, 5, 11については、意見が分かれるのではないかと思います。特に質問11に関しては、設計段階であろうが金額算出においては特記又はそのグレードイメージに関する情報が無ければ金額算出は出来ません。設計者の方々への意識・認識への働きかけの様な話になってしまいますが、コスト算出に対してどの様な条件・情報が必要であるかは理解して頂きたいです。
7	積算事務所	この様な資料を設計者に理解していただく努力を重ねていけば、積算を依頼する時の重要な点を徐々に良くなっていくのではないかと思います。
8	積算事務所	資料2の内容について、設計側に理解していただくというのは大変意義のあることと思われる。
9	積算事務所	特になし(3件)
10	積算事務所	・解体や改修では仮設計画図も必要図面に入れたほうが良いかと思います。特にアスベストが絡む時など複雑になりやすく、期間も仮定できないため。
11	積算事務所	今回は官庁物件を対象にしている様なので、図渡し時は本来すべての図面がそろっていないと積算は進められません。また優先すべきは見積項目に関連する図面になります。積算開始後図面の変更はある程度は仕方ないと思いますが、どこかで区切りをつけないと積算書と図面と見積書の不整合がそれぞれ生じてしまい、質の低下につながると思います。業務において協力はしますが、最低限の時間を確保していただきたい。

設問③-5 : 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【関東支部】

No	職域	回 答
12	建設会社	このような資料があったほうが、設計者はやりやすいと思います。設計者が目を通しやすいこの程度の量がいいと思います。FAQでは矩計でも仕上げの記入は不要とありますが、見積徴収やイメージ作りには仕上の表記は欲しいと思います。
13	建設会社	資料通りと思われます。
14	建設会社	FAQの内容は自身の気持ちを代弁しているようでとてもよく出来ていると思います。
15	建設会社	図面と積算の関係について若手に対する教育資料として使える資料と思います。

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	これに勝るものは思い当たらない。
2	設計事務所	1、2 資料程度は設計段階で確認すると思うが、3以降Q & Aとなると目を通してもどっちと思う項目もあるため、結局出してからになる。Q & A 1 2については、1、2のようにまとめてもらう方がよい。解体工事拾い手順のように。
3	積算事務所	図受け時に出来るだけ一通りの図面がそろった状態で受領したい。
4	積算事務所	一覧表型質疑表に関しては質疑を記載する方もぱっと見で確認出来る為、施主様側で許可が下りるのであれば使用したいと思います。但し、躯体、仕上、外構等で全体での各範囲や納まり相違も多々ある為、他に図面添付が可能であればより良いかと思われれます。
5	積算事務所	不足図面の確認（図面リストとの照合）とあるが、そもそも図面リストが出ない。
6	積算事務所	図面情報の必要度資料については、設計者よりどれだけの図面情報があれば積算ができるのかという問い合わせもありますのでそういった場合に活用できると思います。（設計者が作図の優先順位を付けやすくできる）
7	積算事務所	各社、同じ様なフォーマットや打合せ記録簿などは作成し、使われていると思いますので、現状のフォーマットの改善に参考になると思います。
8	積算事務所	質問－3 矩計図への仕上の記載は必要と思います。仕上表・立面図では仕上範囲が曖昧です。図面作成で矩計図を作成の上、仕上表・立面図への反映をお願いしたい。
9	積算事務所	若年層の設計者へ配布することで、積算に対するイメージが掴めると思います。
10	積算事務所	値入れ、区分、内訳フォーム等全ての積算業務打合せ内容を踏まえての、チェックリストならば使用するかもしれません。

設問③-5 : 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【東海北陸支部】

No	職域	回 答
11	積算事務所	内装拾い手順5、数量拾い出し(間仕切り数量)で、遮音間仕切は必ずセットで拾うとは限りません。また設計者に影響するかわかりませんが、間仕切を各室で拾ったり、雑ものを各室ではなく別で拾ったりと、拾い手順は個人差や物件によることがある為、必ずしも積算者がこの手順で拾っているわけではありません。
12	建設会社	資料の必要性は認めますがそもそも積算は設計のチェック機関ではないことを理解して頂きたい。質疑で要求しないと示されないような設計のレベルでは根本的な解決にはなっていない気がします。
13	建設会社	質問-3 展開図が無いと読み取れず想定となる事が有るので、図面の記載違いが発生する点では相反するが、納まりとして不透明な場所(設備器具の場所等)は要求したい。 質問-9 見積徴収をしているので有れば、鉄骨詳細に雑鉄骨か金物かの判断基準として明確に〇〇工事として記載して欲しい。 質問-12 掘削時の現況高さ、埋戻しラインを明確に記載した図面が欲しい。掘削レベルの不確かさで土量が違ってくる。
14	建設会社	積算資料は、図面の不足分や図面内容の食い違いは当然にあると感じています。これからはますます設計事務所が図面を書かなくなる傾向が多くなる。従って、概算資料で本積算並みの成果物である明細書を作成していかなければならない。そこに着目を置いて、改善する事を積算協会は考えていく必要がある。
15	建設会社	1つの設計図書に対して1つの積算をするのであれば、1・2とも有効と思われるが、実際はいくつもの積算が行われており、特に2のような相互理解を深める様な事は皆無と思われる。
16	建設会社	図面情報の必須度の内容で図面を用意して頂きたいと思います。
17	建設会社	数量積算作業の大まかな手順は、若い設計者の理解が必要でしょうか。
18	建設会社	図面情報の必須情報は、当社でも利用できる。
19	建設会社	図面情報に関するFAQの内容は理解されて図面交付して頂きたいと思う。

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【関西支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	設計者の積算に関する理解度は一般に相当低いため積極的な教育研修は必須であるが、そのための材料の一つとして有効と考える。
2	設計事務所	設計者は積算業務がどうして進めているか理解していない事が多い。この資料は設計者の意識付けとして有効と考えます。
3	設計事務所	積算する上で図面に表記していないといけない情報は何かをはっきり示したほうが良い。
4	設計事務所	手順における初期段階において図面情報の必須度は高くなると思いますが、数量積算作業の大まかな手順と図面情報の必須度、双方の関連性を明確にして頂けると、もう少し分かりやすいと思います。
5	設計事務所	いいと思います。
6	積算事務所	内容に関しては仕上表以外の図面に仕上げを記載すると図面の相違のリスクが大きくなる為、必要な場合以外は記載しない事も重要かと思います。
7	積算事務所	利用できる部分は利用したいと思います。
8	積算事務所	積算図面の遅れがあった場合等に使いたい。
9	建設会社	4については以前から設計部と取り決めをして運用している。
10	建設会社	積算の作業手順は、図面の確認が終わって、各分担が決まれば、まずは特記仕様書の熟読からスタートすべき。いきなり積算を開始しても、後戻りが起こります。

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【中国四国支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	積算作業手順、図面の必須度資料は簡潔にまとめてあるのですが、相互理解のためには紙面で自主チェックをしたらよいとは思えません。
2	積算事務所	積算担当者も質疑のまとめ方が理解しやすいと思う。
3	積算事務所	効果が予測し難いので、何件か設計者に掲示して見てその反応を見たいと思います。
4	積算事務所	図面受け取り時の打合せ及び積算の理解が乏しい依頼者への打合せには活用したい。
5	建設会社	<p>◆本来、雑ものは拾いを内外装と同じにせず、単独の一連で拾った方が項目の落ち、一つのもので木系と金属系がある場合、単独ではない場合は明細を「同上〇〇」として分ける等、意識的な注意に乏しくなる。</p> <p>雑金属工事は全体の図面を見ることが多く、必要で他の拾いとの調整がし易い。</p> <p>◆チェックリストとしては、このままでは使用できない。立場によって、準備したか、添付したか、この作業を行ったか、前もって準備・手配したか、この数値で良いかどうか、など各担当ごとに分けて具体的に、簡単にチェックできるものにする。</p>

設問③-5： 資料(図面交付以降に於ける数量積算の作業手順と図面情報の必須度)へのご意見・改良点など、お気づきの点がございましたらお聞かせください。

【九州支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	参考に使用するのでは？
2	積算事務所	解体の積算では「建具」「仮設」の情報も提示頂いた方が作業効率が良いと思います。
3	積算事務所	図面情報に関するFAQについて、実際の積算業務で起っている事例などが記載されており、積算担当として共感できる内容が多い資料だと思います。是非とも設計者の方にも一読していただきたいです。
4	積算事務所	特に無し。
5	積算事務所	積算事務所の立場上、こちらからは使いづらい。
6	積算事務所	積算時間の短縮は、永長に渡る課題だと思います。 個人でも出来る事など情報交換できる場（積算協会のHPなど）があるといい。
7	積算事務所	特に無し。
8	積算事務所	使ってみないとわからない。
9	建設会社	現状、中身の充実した図面を作成する設計事務所は減っていると思います。また意匠設計と構造設計とのコミュニケーション不足なのか、整合性の取れていないことが多く有りますので、このチェックシートのものは良いかと思えます。
10	建設会社	設計者ではないので解答できません。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【北海道支部】

No	職域	回 答
1	積算事務所	・現状は質疑応答時間の内、大部分を回答修正に費やしている状況なので、図面の精度を上げて質疑の数を減すことが大事だと思います。 ・各社質回内容の整合をとってほしい。（回答間の相違が多い）
2	積算事務所	積算報酬料率表において、質疑回答修正にかかる費用は別途精算と一文を入れてほしい。
3	積算事務所	大変参考になりました。今後共宜しくお願い致します。
4	建設会社	設計者の方へ質疑をし「想定して下さい」という回答を頂くことが多々ありますが、このような回答は質疑をする意味がない上、答えになっていないと思います。何か1つでも情報を付け加えて下さるといいなと思います。
5	建設会社	書式に関しては新たに書式を増やさずとも現状質疑書式で全く問題はありません。問題提起いただけるのであれば、作業短縮の為の創意工夫ではなく、十分な見積期間確保の呼びかけと法令などで見積期間の整備する事ではないかと思えます。民間、官庁にかかわらず発注先によって見積期間のばらつきは、大変問題があります。官庁発注であっても見積期間が2週間もない場合は普通にあります。日本建築積算協会をはじめ公的機関から発信いただきたいです。
6	建設会社	労働時間の短縮（働き方改革）と業務の効率化が叫ばれています。作業手順書の整備と統一書式の策定・普及による業務のマニュアル化が急務です。
7	建設会社	昨今の図面は施主への説明やプレゼン、確認申請、デザインの表現等々に偏り、建築コストを算出する情報が足りない事への理解を求めたい。
8	建設会社	短い積算期間で、精度が良くない設計図から見積をする場合、質疑を拾いきれないケースもあります。質疑を上げていないものは、変更や追加が認められないことになってますが、お互い納得できるようなしつかりとしたルールが必要だと思っています。
9	建設会社	図説・告示時に不足図面・くい違いの図面を少なくできれば、質疑・質問の量も少なく、質疑回答時間も入札までの時間もスムーズに進むと思う。
10	建設会社	見積期間として民間では3週間での物件が多くなっております。質疑回答ですが社内での調整期間も含めると、提出日の9～10日前には遅くても設定して頂きたいと思えます。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【北海道支部】

No	職域	回 答
11	建設 会社	図面情報に関するFAQ、について少し個人的な主観が強い気がした。例えば「展開や 矩計図に仕上の記載があると他の図面との相違の原因になる」とあるが、勿論、相違 が無い方がよいが、それは理想であって現実には、相違が存在するのが自然な形で、そ の状況をないもののように進めるのはいかがかと思う。図面に仕上を記載していただ き、相違が発生したらそれを設計者に正し、設計者の頭を整理させるのも積算者のタ スクと考える。
12	建設 会社	特になし(7件)

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【東北支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	私の場合、①設計チェックノートを理解して貰う。②数量のチェックは、国交省のチェックシートを使用している。③図面の優先順番が決っている、現場説明書→特記仕様書→仕上表→矩計図→伏図・詳細図等
2	設計事務所	特になし
3	積算事務所	基本的に、積算は完成された図面より数量を算出する作業であり、設計図書のチェック業務ではない。あまりにも質疑が多い図面での積算は、期間以内に積算できないことや、積算料にも影響するので、その旨、きちんと伝えるべきである。特に、数量を公開する場合は、質疑が多い図面でスタートした場合、積算途中での変更が多く内訳書の精度が落ちる可能性が高いので、後々積算担当者に責任になってしまう。
4	積算事務所	特に数量公開制度は、積算担当者の立場を考えて無くスタートした制度なので、欧米での数量公開制度のように積算担当者に、設計図面を受領した時点で、あまりにも確認事項が多い場合は、積算をスタートできない旨を伝え、図受けを拒否する権利を与えるべきである。
5	積算事務所	今の数量公開制度は、建設会社に都合が良い制度であり、改善する必要があると思います。積算の実務を理解できていない方が考えた制度と思われます。建設会社の鉄骨・鉄筋は専門業者が数量を算出して、予算書の数量が少ない等とクレームをつけるが、自分達は、数量を算出してない。数量を算出できない建設会社が、受注しているのが現状です。積算協会として、「質疑書」の負担を考えることから、様々な問題点を提示していくことは、意義があることと思われます。「R I B C」の使い勝手も同様です。
6	積算事務所	協会として、デザインが良い建物ではなく、「図面の精度が良い設計者」を表彰する制度があっても良いのではないのでしょうか？
7	積算事務所	特になし（2件）
8	建設会社	当社では想定質疑項目を見本として作成しておりその中から選ぶ方法で作成しています。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【関東支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	図渡しの時に一式渡せるのが当たり前という風にして欲しい。後日提出はナシにしてほしい。CAD担当者が作成した図面を何のチェックもなく渡すことは止めてほしい。設計担当者は図面に責任を持ってほしい。
2	積算事務所	現状の図面がどの程度の完成度かということを定量化することがそれに費やす業務量の把握につながると考えます。
3	積算事務所	理想としては理解できますが、設計者の積算についての理解度が低い事より、発注者の要望や業務過多が原因である事が多く、事前に要望しても着手時に不足しているのが現実です。信用できない図面一式より、確実な仕上表と平面詳細図が有った方が、効率が良いと思います。
4	積算事務所	上記5の部分(※事務局注：4.図面情報に関するFAQで～)がその他に近い話になってしまいました。2つ絡めて上記コメントとご理解下さい。
5	積算事務所	積算のサイドから、設計者サイドにお願いをする機会はあまりなく、いただいた図面でぶつぶつ文句を言いながら業務をこなしてきたと思います。このように、積算業務の大変さをアピールして設計者に理解していただくことは、有意義な事と思います。
6	積算事務所	特になし（2件）
7	建設会社	このような資料があると、設計者に対してだけでなく積算に従事する方の新人教育や熟練者の再認識、おおきな捕らえ方をすれば設計・積算・施工とつながりのある動きができ、風通しの良い業界となれば働き方改革にも通じるものとなっていくのではないのでしょうか。
8	建設会社	値入作業で、質疑回答から提出までの期間が短いと過重労働になりやすい。そのためにも、質疑を分かりやすくまとめ回答後の作業もしやすくなれば労働時間短縮につながる。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【東海北陸支部】

No	職域	回答
1	設計事務所	図面毎の喰い違いがある位であれば重なる内容の記載は不要等、設計側・積算側のお互いにとって無駄な部分は省いていくべき等のFAQ等は目から鱗の内容が知れ勉強になった。積算時にどういう風に拾うから設計図面はこう描くべきだという認識を持って図面作成する事が改めて大事だと当たり前かもしれないが感じた。日々もっと積算について勉強すべきだと感じた。
2	設計事務所	設計側も、設計期間が短くなる傾向で、実際積算事務所に提出ギリギリまで図面を作成している状況。図面ができてからというのもわかるが、途中段階で互いに協力して、ラップさせていくことは難しいだろうか。
3	積算事務所	天井開口補強等の設備絡みの質疑で、「設備図から読み取って下さい。」と回答をもらうが、こちらとしては設備に詳しくなく、読み取れない場合が多い。リスト等で示してもらいたい。
4	積算事務所	設計様としては積算に出されてチェックを兼ねられている事は重々承知しておりますが、せめて特記仕様書、仕上表、材料一覧表程度は確認して頂けると助かります。 (平面詳細図等を修正されて仕上表、特記仕様書等を訂正し忘れている場合があり、優先順位として特記仕様書が優位の為、それだけでも質疑がかなり減ります。)
5	積算事務所	<ul style="list-style-type: none"> ・上記【③】-2.でも書かれておりますが、屋根伏図を書かない方が多いと思われま す。それに伴い、立面図に豎樋経路も書いておりません。 ・外壁がALC・ECPの時、脚元・各階梁取合・パラペット取合の詳細図を作成しない方が多いと思われま す。納まりを質疑しても、メーカーの納まり図を回答として送ってくる方もいます。 ・ここ最近の図面は、質疑の回答で図面の整合性は行い、図面全体のグレードをあげ ている様に感じます。
6	積算事務所	解体の積算は係数にしてしまってもいいのでは（積上げて拾うことに無理があるのではないでしょうか）
7	積算事務所	設計段階の積算として意見を述べます、今回質疑の上げ方の改善は必要ですが質疑有きではなく、まずは設計担当が図面を精査した上で積算に出図していただくことが重要ではないでしょうか。設計と積算が同時並行では図面不備に関する質疑が多大に出ます。積算期間を考慮した設計予定を組んでいただくことをお願いしたいです。積算の立場ではかなわないことでしょうか。
8	積算事務所	本来図面相違のチェックは設計サイドの業務と考えており、若干の相違質疑程度ならば良いが、多すぎる質疑対応は時間、労力も掛かります。以上、宜しくお申し致します。
9	積算事務所	設計者からの質問で、積算者が当たり前に必要としている情報が設計者には伝わっていないことを初めて知りました。設計の経験が無い為、図面作成手順などの設計者側の動きを知りたいと思いました。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【東海北陸支部】

No	職域	回 答
10	積算事務所	<p>質疑については、設計者にこちらの意図（質問内容）がうまく伝わらず回答が未完全となる場合があります。その為なるべく簡潔(箇条書き等で)な文章にしたり回答をあらかじめ複数用意（設問型式）しその中から選択してもらうようにしたり図面(PDF)からの抜粋を貼り付けたりと工夫をこらしています。困るのは回答が遅れる事ですが、設計者の事情（ほとんど打ち合わせで事務所に居ないなど）もあるようで難しいところでもあります。また図面についても現状積算開始時に必要図面がそろっていない、情報が足りない、相違点が多い、第三者に意図が伝わらない。など積算業務の遅れ手戻りなど大きく影響が出ております。これらについて設計者に原因を尋ねると、発注者サイドが意思をはっきりとしない、作図段階で追加要望が多々出る、や設計事務所内の問題等であると聞き及びます。原因は発注者もふくめ色々な事情がありかなり複雑なようで簡単に現状を打開する事は相当困難だと思えます。今回のアンケートで設計者サイドからも意見が出るかと思えますのでお互いの状況について理解し合えれば少しでも状況を良く出来るのではないかと思います。設計者と良い関係を保ち続けることがまずは大切かと思えます。</p>
11	建設会社	<ul style="list-style-type: none"> ・官庁案件の場合、建築図だけの積算となる場合が多いので、設備の納まり、開口等について質疑書を出さないとうからないことがあるから添付資料として最初からいただきたい。（時にチャンバーの納まり、地中梁、鉄骨梁の開口補強、設備に係する基礎、天井から吊る配管用鉄骨（資料） ・仕上表に記載が有るが範囲を明示して欲しい。 ・特記事項の仕様が有るが厚みが不明。断熱材の種別が不明。（最近是新仕様で3種にも種類（b A）が有る） ・ウレタン吹付の種別が不明。 ・タイル役物の有無。 ・参考内訳書の数量に1式が多い事。（積算事務所に確認すると突然の変更で数量拾いが不完全との情報も有る）
12	建設会社	<p>提案するとありますが、東海北陸支部のHPにUPするという事ですか。その先は何か考えがあるのでですか？</p>
13	建設会社	<p>回答内容の相違をなくしてほしい。</p>

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【中国四国支部】

No	職域	回 答
1	積算 事務所	一度使用してみたいと思う。
2	積算 事務所	旧態依然として、図面の質について悩んでいるのがこの業界だと思います。その中であって、このような試みをされることは、大変心強いと思います。若い人たちには希望が持てると思います。
3	積算 事務所	入札前の予算取り時点で設計者と積算者が一つの物件をより良い物にまとめ上げることについては賛同できるが、入札段階になると違う観点からの取り組みが必要だと思う。
4	建設 会社	<p>◆本文の行為・作成物について</p> <p>①改善質疑書は、誰がいつ使用する為に作成するのですか。(以下、以上の回答、ゼネコンに関係しないのであれば無視されて構いません。)</p> <p>②「事情を知らない発注者側が見ると、一般あるいは指名競争であるのに何故同じフォームの質疑書なのだ」など疑問視される。それに、また一方では代書が可能になってくる。</p> <p>請負者、特にゼネコンが関与して、この様なものを作成し同じ書式の質疑書を提出すると、状況に応じては入手前であるが故に談合の疑いを掛けられる。あるいはそう言った感じに誤解される可能性を持たれるとも限りません。更には、集まってこの様な行為をすることも勘ぐられる可能性を秘めています。</p> <p>これらについて対処・言い訳を考えられていますか。</p> <p>③積算協会の用紙として発行するのであれば、また少し異なりますが、この場合ゼネコンのどこまでの会社が使用すると思われますか。やに雲に作ろうとしている様に感じます。考え過ぎであれば申し訳ありません。</p>

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【関西支部】

No	職域	回 答
1	設計事務所	質疑対応は本当に無駄な時間で有り、項目が多くなれば何百項目となる事も有ります。回答する方も（設計者）無駄な時間で有りどれだけ図面の精度を上げるかがポイント。設計者への意識付けは各社によって違うと思いますが、諦めず設計者へ口うるさく伝える事が肝心。
2	設計事務所	設計事務所がもっと質の高い図面を描くことが大前提だと思うが人のやることなので間違いもある。それを聞くときに何も必要以上に丁寧な聞き方をする必要はない。
3	設計事務所	特になし。
4	設計事務所	設計事務所では敬語調の文章は必要ない。よろしいを求める質疑はあとあと問題になることが多い。
5	積算事務所	有りません。
6	建設会社	積算者側（受注者＝施工者）にとって、案件の情報は設計図書しかなく、その設計図書の情報が足りていない場合は、見積書として不完全な物になってしまいます。設計者は常に「質疑を出していない事柄について変更を認めない」とか「軽微な追加変更は認めない」とか、勝手に見積要項書などに書き込んでいますが、これこそ古い時代の「請負制度」の負の遺産のような気がします。施主＝設計者＝受注者（積算）が同等の立場で、案件を完成させるために活動していく時代に、早くなるべきと考えます。日本の設計者は保護されすぎで、設計の失敗は設計が負担するようになれば、不完全な図面のまま世に出ていくこともなくなるはず。積算協会はそのあたりの橋渡しをしていければいいんですけどね。

設問④： その他ご意見がありましたらお願いします。

【九州支部】

No	職域	回 答
1	積算 事務所	①設計者の図面チェックが不十分。 ②仕上表が展開図に分散すると、食違が多いので統一する（例えば仕上表優先にするとか）
2	積算 事務所	積算業務の効率化は必要だが、短くなる積算期間を最低限必要な期間を確保する教宣活動が必要では。（積算期間が短いと十分な見直しが出来ず積算落ちが発生する。）
3	積算 事務所	設計者側に講習会等で図面情報の少ない図面で積算をしてみてもは？
4	積算 事務所	BIM対応の図面も同様なのでしょうか。
5	建設 会社	今回のアンケートが設計図がより充実した状態で積算業務が出来ることを期待します。